

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひーと熊野教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		～ 2025年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 8日		～ 2025年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	課題や活動に集中できるよう、玩具が視界に入りにくいように配置している。また、子どもや周りの状況に合わせてパーテーションを用い、過ごしやすい環境整備を心がけている。	現状で満足せず、支援員間でより充実させるために話し合う機会を設け、日々研鑽に努める。
2	面談や関りについての助言等の支援が行われている。	面談時だけでなく、送迎時にその日の様子や関りについて積極的なコミュニケーションを図っている。	保護者とのコミュニケーションを重ね、悩みを打ち明けやすい関係の構築を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校を卒業後、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の情報や支援内容の提供をしたことがない。	今までに前例がない。必要に応じて相談員や障害福祉サービス事業所と会議の場を設け、情報や支援内容等について共有を行う。	保護者や相談員と普段から情報共有を行う。また、利用開始からの経過を分かり易くまとめ、スムーズな情報共有を図る。
2	避難訓練や非常災害時の備えについて。	事業所で年1回の避難訓練を実施している。また、防災センターへ行くことで、様々な災害についての知識を身に付けられる機会を提供している。活動はSNSや会報で周知しているが、広く見ていただけていないのが現状。	SNSや会報だけでなく、送迎時に保護者とのコミュニケーションを図り、事業所の取り組みについて周知していく。
3	保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられているか。	保護者会開催1か月以上前から周知をしていたが、約4割程度の参加に止まった。さらに早い時期からの周知が必要だったことが考えられる。	もっと沢山の保護者に参加いただけるよう、事前の周知や内容、開催時期の見直しを図る。